

第118号

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE ALUMNI ASSOCIATION NEWS

# 東京農業大学 校友会ニュース

[発行]  
東京農業大学校友会  
〒156-0054  
東京都世田谷区桜丘3丁目9-31  
電話 03-3429-1983  
FAX 03-3427-2271  
[編集発行人]  
校友会会長 三好吉清

東京農業大学校友会新役員名簿 (6月25日理事会決定・五十音順)

役職名	現/新	氏名	卒年	現職
会長	現	三好吉清	36農	神奈川県支部顧問
副会長	現	小泉幸道	48醸	東京農業大学副学長/醸造科学科教授
〃	現	外園惘	37造	埼玉県支部長
常任理事	新	小野甲二	47経	校友会本部事務局長
〃	現	豊原秀和	47拓	(株)メルカード東京農大社長/名誉教授
〃	新	鳥海稔雄	35農	千葉県支部長
〃	新	宮林茂幸	50林	森林総合科学科教授
〃	現	横澤馨	38経	群馬県支部長
理事	新	石原憲一郎	45造	兵庫県支部長
〃	新	伊澤宏爾	39畜	長野県支部長(関東・甲信越ブロック推薦)
〃	新	原万里子	63院農博	食品安全健康学科教授
〃	新	内田正文	44造	山梨県支部長
〃	新	金子忠一	57造	造園科学科教授
〃	新	木部穰	50畜	福岡県支部長(九州ブロック推薦)
〃	新	小松山善継	44経	福島県支部長(北海道・東北ブロック推薦)
〃	新	鈴木崇之	50農	栃木県支部長
〃	現	高橋信茂	45経	東京都支部常任幹事
〃	新	武井清秀	46工	愛媛県支部長(中国・四国ブロック推薦)
〃	現	徳山高光	39化	東京都支部相談役
〃	新	長倉春義	45経	宮崎県支部長
〃	新	糠谷禎則	50工	静岡県支部長(東海・近畿・北陸ブロック推薦)
〃	新	藤代孝七	40経	千葉県支部代議員
〃	新	水澤洋介	48経	埼玉県支部幹事長
〃	新	李代鉄幸	45畜	神奈川県支部副支部長
〃	現	安田舜一郎	42農	石川県支部長
代表監事	現	福浜満	43造	群馬県支部副支部長
監事	新	神田務	45造	神奈川県支部副支部長
〃	新	志和地弘信	59拓	国際農業開発学科教授

注：現は現職で当選した理事・監事、新は新人で当選またはブロック推薦の理事・監事。現職は9月現在。

任期満了に伴う東京農業大学校友会理事・監事の選任選挙(選挙管理委員長 鈴木誠造園科学科教授)が5月25日に公告され、6月23日に都道府県支部総会などで選出された全国218人の代議員により行われた。

## 校友会会長に三好吉清氏を再選 理事・監事選挙を施行

### 副会長に小泉氏、外園氏を指名

校友会理事は定員20人(ブロック推薦5人を除く)に27人が立候補、得票上位20人が当選した。監事は定員と同じ3人が立候補し、豊を全去一一致で再選した。

三好会長は副会長に小泉幸道氏(再)と外園惘氏(再)を指名、また、常任理事には小野甲二氏(新)、豊原和氏(再)、鳥海稔雄氏(新)、宮林茂幸氏(新)、横澤馨氏(再)を指名、審議の結果、異議なく承認された。代表監事には福浜満氏が互選により選出された。

### 理事の若返りが進む 小野事務局長が 常任理事に

理事・監事定数28人のうち新人が18人、現職10人と大幅に入れ替わるとともに、昭和30年代6人、40年代15人、50年代以降7人と一気に若返った。また、石川県支部長の安田舜一郎氏、兵庫県支部長の石原憲一郎氏、宮崎県支部長の長倉春義氏が首都圏外の地方から立候補して当選した。

再選された三好会長は「会長2期目となるが向こう4年間、ブロック選出理

(新役員名簿参照、選挙結果は6面に掲載)。

### 三好吉清氏のプロフィール <平成27年6月現在>



昭和14年 長野県生まれ(76歳) 36年 東京農業大学農学部農学科卒 58年 神奈川県議会議員当選(7期連続28年間) 平成7年 学校法人東京農業大学理事(現職) 11年 第92代神奈川県議会議員、神奈川県農業会会長 15年 藍綬褒章受章(地方自治功労) 24年 東京農業大学校友会会長(現職) 26年 神奈川県選挙管理委員会委員長職務代理(現職)、旭日中綬章受章

## 平成27年度通常総会 事業計画・予算など承認 全国から代議員210人が出席



代議員210人が出席した通常総会

平成27年度校友会通常総会が5月22日、世田谷キャンパスの東京農大アカデミアセンター横井講堂で開かれた。全国から代議員210人(委任状49人)が出席した。平成26年度事業報告・決算、平成27年度事業計画・予算などが全会一致で承認された。

小野甲二事務局長の司会で総会を進行。主催者を代表して三好吉清会長が

第1号議案「平成26年度事業報告ならびに決算報告の承認に関する件」が上程され、佐藤勝彦常任理事から詳細を報告後、宮林茂幸代表監事が監査報告を行い、異議なく承認された。

第2号議案「平成27年度事業計画ならびに収支予算の承認に関する件」が上程され、豊原秀和常任理事から説明があり異議なく承認された。

第3号議案「第2号理事の選出について」が上程され、小野事務局長が「校友会理事の任期は4年で本総会までとなっている。会則と役員選出規程に定めると

ころにより5人をブロック推薦理事(第2号理事)とすることについて承認を求めると提案、異議なく承認された。

選出された5理事は次の通り。

- 小松山善継氏(昭44経) 北海道・東北ブロック推薦(福島県支部長)
- 伊澤宏爾氏(昭39畜) 関東・甲信越ブロック推薦(長野県支部長)
- 横澤馨氏(昭50工) 東海・近畿・北陸ブロック推薦(静岡県支部長)
- 武井清秀氏(昭46工) 中国・四国ブロック推薦(愛媛県支部幹事長)
- 木部穰氏(昭50畜) 九州ブロック推薦(福岡県支部長)

続いて、小野事務局長から①株式会社農大常磐松第32期営業報告②有限会社農大桜丘第15期営業報告、外園惘副会長から③全国教職員部会連絡協議会の設立(案)について④東京農業大学創立125周年記念事業資金募金支部別実績を説明した。

また、小野事務局長から任期満了に伴い、校友会理事20人・監事3人を選出する「校友会役員選挙日程について(案)」を説明。5月25日選挙公告(立候補者受付)、6月23日選挙施行(投票)とすること了承された。

その他、大学のキャリアセンターから「学生の就職状況等のご報告及び就職支援についてのお願ひ」ならびに東京農業大学教職・学術情報課程から教員合格者状況などが報告された。(6面に代議員名簿など掲載)

代議員各位には、ご出席をいただきお礼申し上げます。総会も年々盛会になってまいりました。皆さま方の協力のおかげで、皆さま方へ、皆さま方がいかに母校への関心が深いかを示すもので喜ばしく思っております。

東日本大震災から早いもので4年以上が経過いたしました。今も復旧・復興に

多くの関係者が懸命に取り組んでいます。避難者約23万人が、依然として不十分な生活を強いられています。原発・放射能処理についても、一日も早い復旧・復興を願っています。

母校は、被災地の在学生や新入生の授業料の免除措置などを実施しています。また、福島県相馬市では東日本ア

ロツェク

ト活動を展開、地域農業の復旧の手助けを行っています。

日本経済はデフレ脱却に向けた諸施策により一部の産業などで高い収益が見込まれ、賃金のベースアップが行われるなど、好転の兆しが見え始めていますが、私生活面ではその実感はありません。TPP問題も日米間で一定の進展が確認されていますが、国内農業が壊滅的な状況に追い込まれる懸念もあり、目が離せない状況です。

先にはJA全中を中心とする農協改革で、われわれの仲間である農協会長が任期中途中で退任表明するなど、官邸主導の政策が進められています。さらには、集团的自衛権行使を可能と

する安全保障議論など、目まぐるしく情勢が変化しようとしております。

一方、母校では大澤理事長、高野学長の強いリーダーシップで、教育環境の充実や学生支援の強化などに積極的に取り組んでい

ます。入学志願者数、就職率など、まさに順調な歩みを続けております。

校友会は、16万2900余人となり大学や県支部と連携を図り各種活動に取り組んでまいりました。各県支部も支部長を中心に活

校友会通常総会 あいさつ 要旨

三好 吉清

校友会役員はこの総会で任期満了となります。退任される方々には、4年間ご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。



要望事項がありました。学校法人と大学のご理解をいただきながら、一つ一つ解決していかねければならぬ重要な課題であり、これからの精いっぱい取り組みていきたいと思います。

提議しております事業報告と事業計画のうち主な事項を報告いたします。

一つ目は125周年記念の募金です。校友会組織一丸となって協力する旨を全国支部長会議で採択、県別目標を機関決定して活動をスタートしました。3月末の実績は1億6915万円

です。経済情勢が思わしくない中、感謝申し上げ、引き続きご協力をお願いいたします。

二つ目は地域後継者推薦入試です。この入試は農大独自の制度であり、卒業後は出身地の後継者となることです。与えられた制度の枠組みの中で、ご推薦を賜りたいと思っております。

三つ目は海外支部との交流です。グローバル化の進展とともに、母校も多くの留学生を受け入れております。校友会も国際化の視点で活動する時期を迎えています。昨年はタイ支部との交流会を実施しました。来年9月下旬に125周年記念事業として世界校友大会を行う準備を開始しました。海外支部校友を招待して式典と交流会を行う予定です。

四つ目は、年々激化する箱根駅伝ですが10月の予選会を突破して本戦に出場していただきたいものです。農大スポーツの強化については、全国から強い要望があります。全国支部長会議の場で高野学長から心強いご決意を得たところであります。

校友会役員はこの総会で任期満了となります。退任される方々には、4年間ご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

新しく選任された218人の代議員で、校友会を運営する新理事を決める選挙を行う予定でありますのでご協力をお願いいたします。

平成27年度東京農業大学校友会通常総会が横井講堂にて開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

まう状況となっております。このような中で、教育を預かる学校法人としては、人口減少は避けて通ることのできない課題です。若い人たちのために、非正規雇用や経済格差がない社会をつくらなければなりません。さらには、子育てのし

易い環境の創造などを全国的に支援していただかないと、来る2018年の少子化(18歳人口減少問題)で大学運営が維持できなくなる恐れがあります。これは、日本経済の発展のためにも基本的な基盤であり、政府にはぜひ対策をお願いしたいと思っ

ております。昨今の日本経済はアベノミクスによって、株価はリーマンショック前まで戻りつつありますが、一方で地方と首都圏との経済格差が広がり、将来的に日本の人口は大きく減少してし

まう状況となっております。このような中で、教育を預かる学校法人としては、人口減少は避けて通ることのできない課題です。若い人たちのために、非正規雇用や経済格差がない社会をつくらなければなりません。さらには、子育てのし

易い環境の創造などを全国的に支援していただかないと、来る2018年の少子化(18歳人口減少問題)で大学運営が維持できなくなる恐れがあります。これは、日本経済の発展のためにも基本的な基盤であり、政府にはぜひ対策をお願いしたいと思っ

ております。昨今の日本経済はアベノミクスによって、株価はリーマンショック前まで戻りつつありますが、一方で地方と首都圏との経済格差が広がり、将来的に日本の人口は大きく減少してし

まう状況となっております。このような中で、教育を預かる学校法人としては、人口減少は避けて通ることのできない課題です。若い人たちのために、非正規雇用や経済格差がない社会をつくらなければなりません。さらには、子育てのし

ります。地方創世が重要と

言われておりますが、現実

に早急な再生ができるのか、地域によっては難しい状況もあるのではないかと

思っています。

しかし、われわれが基盤とする農業・農村地域の社会発展がなければ、東京農

業大学、高校それから中学まで、この大きな組織を将来的にどのような方向に発展させていくか検討し、校

友の皆さま方のご意見も伺いながら考えていきたいと思っております。



来賓祝辞 要旨

大澤 貫寿

業大学の基盤は盤石にはいきません。このことを考えつつ、東京農業大学の将来を考えますと、求める人材をどこに置くか、どうい

う人材を求めるか、グローバルに海外諸国から学生を呼び込むのか、それともわ

れわれが海外に出て行くのか、さまざまなことを考え

ております。

法人は東京農業大学以外にも東京情報大学、高等専門学校や中学校も抱えておりま

すが、安閑としていられる状況にはありません。ここをしっかりとやらないと東京農業大学の足を引っ張って

いかなければなりません。

ておかないと大学の存続は難しくなっていく、こんなことを考えながら、昨今危惧している次第でございます。

大学、高校それから中学まで、この大きな組織を将来的にどのような方向に発展させていくか検討し、校

友の皆さま方のご意見も伺いながら考えていきたいと思っております。

法人は東京農業大学以外にも東京情報大学、高等専門学校や中学校も抱えておりま

すが、安閑としていられる状況にはありません。ここをしっかりとやらないと東京農業大学の足を引っ張って

いかなければなりません。

いかなければなりません。

来賓祝辞 要旨

高野 克己



本学は「人物を畑に還かえす」という建学の精神のもと、地域のリーダ育成から、世界の各地域のリーダ育成に転換していき

か、また、従来は農業を中心としておりましたが、これからは、生命、食料、健康、環境、エネルギーというさまざまな産業の中で、

中でも本学への期待の大きな表れでございます。

例えば、食品関係で卒業生が一番多いところはキユーピーです。2番目は山崎製パンで、最近の出身大学別の採用数は農大が1位だそうです。その他、名だたる食品関連産業などで

重要な教育研究ですが、大学院進学者は340人ほどでございます。今の複雑化した社会の中にあり、経済状況が芳しくない時代に、おいては、学部卒業生より、修士課程のプラス2年間を学んだ学生の方が社会に

対する適応力が高いと評価されております。社会の要請に応えるべく、学部4年プラス大学院2年の6年一貫教育を目指し検討しています。

国際化の推進ですが、昨年はラオス国立大学、ミャンマーのイェン農科大学と協定し、これでASEAN諸国すべてに海外協定校を持つことになりました。

公務員については、特に

一方、教育研究の充実を図り、世界に発信できるように進めていかないと

いけません。

このようなことで学校法人、そして東京農業大学の発展を図っていきたく思っております。

現在、東京農業大学創立125周年事業に対するご支援もお願いしておりますが、校友16万余人は日本全国津々浦々、南米・東南アジア地域まで人材を輩出されていますので、この校友組織から大学ならびに学校法人へのご支援をぜひお願いしたいと思っております。

今後とも東京農業大学へのご支援をお願いして、私のあいさつとさせていただきます。

南アジアではスリランカのペラニア大学、また、世界トップクラスの大学、米国のコーネル大学とも協定を結び、この締結により本学の評価がますます高まりました。

今後、中国の上海交通大学、西オーストラリア大学とも結ぶことが決定しており、2020年までには海外協定校を50校ほどに増やしたいと考えております。

本学の現状の一端をお話しいたしました。ぜひともご理解賜り、各地域で本学のPRに努めていただき

ますようお願いいたします。校友会は大学と現役学生の応援団、いわばサポーターですので、今後とも物心両面のご支援を賜りたく重ねてお願いいたします。

本学の現状の一端をお話しいたしました。ぜひともご理解賜り、各地域で本学のPRに努めていただき

ますようお願いいたします。校友会は大学と現役学生の応援団、いわばサポーターですので、今後とも物心両面のご支援を賜りたく重ねてお願いいたします。

本学の現状の一端をお話しいたしました。ぜひともご理解賜り、各地域で本学のPRに努めていただき

ますようお願いいたします。校友会は大学と現役学生の応援団、いわばサポーターですので、今後とも物心両面のご支援を賜りたく重ねてお願いいたします。



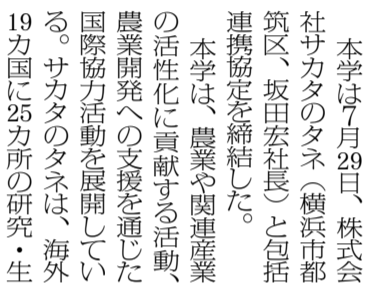
地域振興に力発揮 企業と包括連携協定



協定を締結した生物産業学部と富士通の関係者ら



包括的連携協定を締結した三者



株式会社サカタのタネと東京農業大学との包括連携協定締結式

東京農業大学が締結したその他の連携協定 (3月~9月)
●3月21日 生物産業学部と北海道オホーツク総合振興局ならびに北海道紋別市は、オホーツク地域と紋別地域の活性化に向けて、相互に連携・協力しながら協働事業に取り組むこととし、包括連携協定を締結した。
●5月12日 生物産業学部と拓殖大学北海道短期大学は、両者の建学の精神、教育理念を尊重し、教育研究基盤を相互活用して学術研究の交流を図りつつ地域活性化に寄与し、併せて社会貢献活動をするを目的として包括連携協定を締結し、調印式を行った。
●5月29日 会津若松市、イオンリテールおよび東京農業大学は地域活性化、地域発展などを目的し、連携協定を結んだ。

富士通

生物産業学部と富士通(株)は4月10日、協力してオホーツク地区の発展に寄与するために包括連携協定を締結した。同学部の研究活

動による専門知識と、同社が事業展開してきた経営資源を生かしていくというもの。地域活性化を担う人材の育成・養成に取り組み、とりわけ食と農の6次産業化、農商工連携、ソーシャルビジネス(社会的課題に取り組む事業活動)の分野で協力し合う。

三菱地所など

術(ICT)の活用について連携していく。
本学は8月3日、三菱地所株式会社(千代田区大手町、杉山博孝社長)、一般社団法人大丸環境共生型まちづくり推進協会(伊藤滋理事長、エコツツエリア協会)と包括連携協定を締結した。

サカタのタネ

本学は7月29日、株式会社サカタのタネ(横浜市都筑区、坂田宏社長)と包括連携協定を締結した。本学は、農業や関連産業の活性化に貢献する活動、農業開発への支援を通じた国際協力活動を展開している。サカタのタネは、海外19カ国に25カ所の研究・生産・営業拠点を持ち、170カ国以上に種子を供給する世界的な種苗ブランド企

共同研究や交流に期待 海外大学と学術協定



学術協定を締結した国際協力センター志和地弘信センター長(前列左)と周培院長(同右)

本学は7月21日、中国上海交通大学農業与生物学院と学術協定を結んだ。中国は、地域格差や環境、さらに食品安全などで日本と同じような社会問題が多く抱えている。協定により双方の大学が連携し、これらの社会問題の解決に臨む。

また、学生が相互交流し、教育効果を高める。調印式は中国上海市の同学院で行われた。本学からは、国際協力センター志和地弘信センター長と鈴木貢次郎副センター長が、上海交通大学からは同学院の周培院長が出席し、調印した。上海交通大学は、中国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で理工系の伝統が強く、清華大学、北京大学に次ぐ難関校。社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備えている。

西オーストラリア大学

本学は9月10日、オーストラリアの西オーストラリア大学で同大学との学術協定を締結した。本学国際協力センターから坂田洋一副センター長が出席、同大学のケント・アンダーソン副学長と協定書を交わした。



西オーストラリア大学での調印式、アンダーソン副学長と坂田国際協力センター副センター長

学会賞など受賞者紹介 (詳細は東京農業大学HP(学術)参照)

Table with 3 columns: 受賞名 (Award Name), 受賞者名 (Recipient Name), 受賞内容等 (Award Details). Lists various academic awards and their recipients.

(平成27年4月~9月30日までの公表分を掲載)

の中心となるのが科学部。生命科学と農学の分野の研究はオーストラリアでランキング1位、世界で24位と高いレベルを誇る。特に乾燥地農業に関する研究は世界のトップレベルで著名な研究者をそろえている。学生、教職員の交流、共同研究などの進展が期待される。

# Campus now

## キャンパスナウ

### 世田谷キャンパス

#### 1万人が来場し 学科の魅力体験

世田谷キャンパスでは8月1日、2日と2日間、本学最大の受験生向けイベントであるオープンキャンパスが開かれた。来場者は約1万人にのぼった。

主なプログラムは、各学科の担当教員による30分の模擬講義、食品加工技術などを体験する分野別模擬実習、一般入試の説明や推薦入試合格者の体験談が聞ける入試対策講座、各学科が学科のカラーを前面に出して来場者に学科紹介する「学科別ナビ体験」など。中でも学科別ナビ体験では、各学科とも昨年よりもさらに内容を向上させた。展示だけではなく、実際に体験をしながら学科の理解を深めることができる企画になった。来場した受験生は、



担当教員による模擬講義



大勢の受験生が参加した入試対策講座



内容を向上させた学科別ナビ体験

## 魅力を知らせるキャンパス見学会

### ダイコンアートでお迎え 農場見学ツアーや新企画も



キャンパス内の圃場に作られたダイコンアート

厚木キャンパスのオープンキャンパスは、8月1、2日に開かれた。2日間で2686人が来場した。

正門バスロータリー下に学生たちが、圃場(ほじょう)にダイコンの葉の緑で「NODA」の文字を描いた。収穫したダイコンは、1955周年記念の袋に入れて来場者の土産にした。

オープンキャンパスの主なプログラムは、農学科、畜産学科、バイオセラピー学科の各研究室に分かれて、研究室や圃場などで体験をする「学科別ナビ体験」と、3学科の教員による25分の模擬講義が中心。学科や研究内容の特徴をつかんでもらえる企画とした。農学部の特徴的な施設である、伊勢原農場へマイ

### 厚木キャンパス



馬と触れ合う参加者

クロバスで送迎する農場見学ツアーも行った。

また、新企画として保護者向け就職ガイダンス、サイエンスショーを催した。オホーツクキャンパスの4学科を紹介するコーナー、卒業後の進路や周辺住宅情報、入試・学生生活相談コーナーにも多くの来場者が訪れた。休憩室を兼ねた「パーラー実学」では、恒例の乳酸飲料に加え、農学科と畜産学科が連携して作った特製のミックスベリーアイスクリームを提供した。アンケートを提出した来場者には、伊勢原農場で栽培した植物苗などをプレゼントした。

炎天下の中、学生スタッフが笑顔で元気よく対応したので、来場者に「農大ならではのマナビ」を伝えることができた。

### オホーツクキャンパス

#### 農大初の自己推薦型 入試申込書を配る

オホーツクキャンパスでオープンキャンパスが7月25、26日に開かれた。同時に、東京農大初の自己推薦型入試「榎本武揚フロンティア入試」のエントリーシート配付も始め、全国から受験生や保護者480人が来場した。

「榎本武揚フロンティア入試」は、自分の目でオホーツクキャンパスと周辺環境を確認し、生物産業学部4学科の学びを理解した上で、オホーツクでチャレンジしたいという、フロンティアスピリットに満ちあふれた受験生を広く募集するもの。オープンキャンパスの「学科ナビ体験」はツアertypeからスタンブラー型、「学部ナビ体験」は「1型」の「学部ナビ探検」へと進化し、受験生自ら各学科のチェックポイントを探しながら4学科を体験する内容となった。

昼食会場では、在学生トークライブを聴きながら、「オホーツクベール」の「学科ナビ体験」はツアertypeからスタンブラー型、「学部ナビ探検」へと進化し、受験生自ら各学科のチェックポイントを探しながら4学科を体験する内容となった。



恒例の青山ほとりでお見送り(学外バスツアー)



スタンプラリー説明の後、マナビ探検スタート



昼食は地元食材満載のオリジナルランチボックス

から、「オホーツクベール」の「学科ナビ体験」はツアertypeからスタンブラー型、「学部ナビ探検」へと進化し、受験生自ら各学科のチェックポイントを探しながら4学科を体験する内容となった。



平成27年も残すところあと3カ月を切った。一年で一番心が落ち着く季節を感じる今日この頃。大学では収穫祭に向けて準備もいよいよ佳境に入ってきた。「食と農」の博物館でも大学と歩調を合わせて例年通り収穫祭を行う。本学卒業生の合田さん(秋田県)、大嶋さん(茨城県)の二つの農場、長野県J A中野市などから、新米をはじめ秋の恵みが今年もたっぷり届く予定だ。その後は11月21、22日には長野県木祖村、12月5、6日には同じく長野県の本曾町の観光と物産展が行われる。木曾の地酒の新酒や名産品がふんだんに取りそろえられる。楽しみに。

10月14日(水)からは特別展示「女わざと自然とのかわり」―農を支えた東北の布たち―が始まった。近世以前、家族の衣類を糸から紡ぎ、染め、機で織り、縫い仕立ててきた農村の女性たち。特に厳しい自然環境にさらされていた東北では、限られた自然の資源から調達した「布」を女性たちは懸命に守り継いできたのだ。本展示では「かまばた織り」や「紫根染め」をはじめとして、東北地方に今も息づく布文化を担ってきた女性たちの手わざを紹介する。麻、絹、木綿といった素材による、野良着を中心に赤子のおくるみや男性の袴(かみしも)といった衣類を見ることが出来る。東北地方の女性たちが大切に守ってきた布を通して、人と自然の関わりに触れてみてほしい。



■会期  
平成27年10月14日(水)

〔平成28年3月13日(日)〕

### イベント

①ワークショップ「麻績(つぐ)みと絹の座繰(ざぐる)実演と講演」

○上野節子(栗石麻の会代表)、吉田信子(結工房主宰)

○11月7日(土)13時30分〜15時30分

○「食と農」の博物館2階セミナー室

②ワークショップ「バィアスの不思議」

○森田珪子(修紅短大名誉教授)

○11月28日(土)13時30分〜15時30分

○「食と農」の博物館2階セミナー室

また、1階の展示室では今年新たに買ったトラクターが3台、圧倒的な存在感を見せている。農大の農場の整備や農業機械実習の授業などで長い間使われてきた貴重なトラクターの中から選んで展示したものだ。これも必見。



校友の皆さまのご理解とご協力を得て、「食と農」の博物館もますます充実してきた。これからも当博物館の発展をご期待ください。

平成27年度第15回ホームカミングデー親子3代卒業特別表彰者

Table with 5 columns: Group, Name, Residence, Graduation Year, Faculty. Lists 15 individuals and their families honored at the Homecoming Day event.



特別表彰された親子3代卒業生ら

ホームカミングデーに485人 親子3代卒業生表彰も

第15回目となるホームカミングデーは、6月20日(土)に開催されました。参加者総数は485人(懇親会参加者342人)と参加者は年々増加しています。校友会支部から推薦された親子3代卒業生5組(左表)が高野克己学長から特別表彰され、表彰者を代表して石塚幸右衛門(彬丸)氏から謝辞がありました。この特別表彰は来年度も引き続き実施される予定です。

校友会平成26年度収支報告

Financial report table showing income and expenses for the 26th fiscal year across various categories like general account, special accounts, and sports fund.

該当者がいる場合は、校友会各支部に早めにご報告をお願いいたします。なお、来年のホームカミングデーは、平成28年5月21日(土)の大学創立125周年記念日(式典)に合わせて開催される予定です。

創立125周年記念事業資金募金のお願い

東京農業大学校友会会長 三好吉清

卒業生校友の皆さまにおかれましては、日頃から、母校・校友会に対するご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

伝統あるわが母校は、来年は記念すべき節目の創立125周年を迎えることとなります。卒業生校友総数は16万2,900余人とわが国農学系総合大学では名実ともに最大の校友会組織に発展しております。

さて、すでに多方面から125周年記念事業資金の募金について、趣意書を添えてお願い申し上げておりますところですが、校友皆さまの尊いご寄付により記念事業のシンボルとして「東京農業大学国際センター」を建設することにしております。

「東京農業大学国際センター」は、国際化社会において母校が世界の農学系研究の拠点大学として、確固たる地位を確立し、さらに飛躍するための必要不可欠なミッションであり、かつ卒業生校友が集える交流施設でもあります。

校友会は、この記念事業に支援・協力するため、平成25年7月から平成28年3月までの3年間を集中期間として募金活動に取り組んでおります。

校友会では総額2億円を目標としており、平成27年8月末現在の実績では2,208件・1億3,200万円、目標額の66%となっています。

大学における募金活動はしばらく続きますが、校友会が組織的に活動する集中期間は、残すところ半年となっております。

校友各位には、経済状況が芳しくないなかで恐縮ですが、ご賛同いただき、同封しております払込票などでご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国際センター外観イメージ

校友会代議員<平成27年5月22日公告縦覧により確定>

Large table listing the names and faculties of the alumni representatives for the 27th fiscal year, organized by regional branches.

(注)校友会会長推薦(会則第15条第1号代議員) 支部長(会則第15条第3号代議員) 都道府県支部推薦(会則第15条第2号代議員) (任期 平成27年5月23日~4年間)

一般入試1期・2期 平成28年度

Table with 5 columns: Period, Faculty, Subject, Exam Date, Application Details. Provides exam dates and application procedures for the 28th fiscal year.

Table with 3 columns: Period, Exam Date, Application Details. Provides exam dates and application procedures for the 28th fiscal year.



支部総会開催一覧表

Table with columns: 支部名, 平成27年度 日程, 出席者 (校友会, 大学), 参加者数, 場所, 講演等. Lists various regional branch meetings across Japan.

東京農業大学校友会アルゼンチン支部の玉城勝氏(昭41拓)が、平成27年春の叙勲を受章(旭日単光章)し、9月23日にアルゼンチンの日本大使館公邸で叙勲伝達式が行われた。



旭日単光章を受章した玉城勝氏(前列右から3人目)と福嶋教輝駐アルゼンチン大使(同4人目)

この受章は、日系社会の基盤づくりと発展のための尽力、日本とアルゼンチンの友好関係の促進の功績に対するもの。

が列席した。玉城氏は、昭和42年に農業技術移民としてアルゼンチンに移住し、45年にコルドバ州日本人会の理事に就任。以来、約25年間にわたって会長などの要職を務めてきた。現在も副会長兼相談役としてコルドバ州日系社会の発展のため活躍している。

支部だより



業技術移民としてアルゼンチンに移住し、45年にコルドバ州日本人会の理事に就任。以来、約25年間にわたって会長などの要職を務めてきた。現在も副会長兼相談役としてコルドバ州日系社会の発展のため活躍している。

Table for '平成27年度支部ブロック会議開催' (2015 Branch Block Meeting Schedule) with columns: 支部ブロック名, 開催日・場所, 本部出席役員.

- List of deceased members and their details: 旭日双光章 東京都支部 土方 長久氏 (昭39追), 旭日単光章 茨城県支部 谷中 清彦氏 (昭42経), 旭日単光章 アルゼンチン支部 玉城 勝氏 (昭41拓), 新支部長紹介 静岡県支部 4月1日 藤谷 禎則氏 (昭50工), 福岡県支部 4月1日 木部 穂氏 (昭50畜), 愛媛県支部 7月11日 武井 清秀氏 (昭46工), 和歌山県支部 7月11日 尾隠山明宏氏 (昭45農), 広島県支部 9月1日 竹重 博樹氏 (昭44農), 神奈川県支部 9月5日 加藤 恒雄氏 (昭47畜), 関口 高氏 (昭17学経), 兵庫県支部 平成26年11月29日 菊地 進氏 (昭36林), 宮城県支部 平成27年1月5日

- List of members and their details: 原 宏氏 (昭20専農), 埼玉県支部 平成27年4月9日 櫻井 文壹氏 (昭27学経), 新潟県支部 平成27年4月10日 鎌田 誠氏 (昭42拓), 秋田県支部 平成27年4月22日 渡辺 正志氏 (昭44拓), 群馬県支部 平成27年5月8日 鈴木 英雄氏 (昭23専化), 東京都支部 不明 谷口 謙弥氏 (昭32経), 兵庫県支部 平成27年7月20日 横山 幸司氏 (昭24専農), 群馬県支部 平成27年7月24日 熊谷 隆幸氏 (昭45畜), 岩手県支部 平成27年8月14日 布留川正純氏 (昭24専上), 群馬県支部 平成27年8月17日 安宿院美然氏 (昭36経), 秋田県支部 平成27年8月18日 東海林仲之助氏 (昭26学農), 宮城県支部 平成27年8月19日 関根 誠史氏 (平16院化博), 東京都支部 平成27年8月27日 駒村 正治氏 (昭44工), 神奈川県支部 平成27年8月28日 長沢 光夫氏 (昭33造), 群馬県支部 平成27年9月23日 学校法人東京農業大学前理事長・元東京農業大学長・元東京情報大学長の松田藤四郎先生が、平成27年3月22日に逝去され、「お別れの会」が5月14日に明治記念館「富士の間」で執り行われました。

国内の酒蔵のおよそ7割が本学の卒業生が経営、酒造りの伝統を継承する役割を担っています。「国酒」として世界の日本酒を目指す動きが活発化している。今わが卒業生がさらに活躍するよう期待されています。同書は四六判203ページ、税別1500円。購入希望者は左記の発売元まで。(株)同友館 電話03(3813)3966、FAX03(3818)2774 ホームページ: http://www.doyukan.co.jp/

校友会情報 (Alumni Information) section with sub-headers: 住所変更などの届け出(お願い), 平成27年春の叙勲で次の方が受章されました, 会員の動静 (Member Status).

日本酒 (Japanese Sake) section featuring an image of a sake bottle and text: 東京農業大学は7月に『日本酒』を発売しました。北は北海道から南は大分まで、卒業生が携わる139の蔵元を、代表的銘柄と併せて紹介しています。特別企画座談会『日本酒の未来について』など読み物記事も充実。「農大の酒」が全て分かる一冊となっています。

Table for '推薦入試1期1期' (Recommended Admission 1st Round) with columns: 学部, 学科, 試験日, 願書受付, 合格発表.

Table for 'センター試験利用入試' (Center Exam Admission) with columns: 学部, 学科, 試験日, 願書受付, 合格発表.

# 移住100年史出版を記念し祝賀会 ブラジル農大会70人が出席



東京農業大学校友会ブラジル農大会（会長 沖眞一氏・昭37拓）は、「移住百年史―堅き絆―」の刊行を祝う記念出版会を8月22日、ブラジル・サンパウロ市にある伯国農大会館で開催した。日本から高野

## 歴代卒業生の活躍を記載

克己学長、舟山亮事務局長、志和地弘信国際協力センター長（国際農業開発学専攻教授）が出席した。また、遠方からはパラ州ベレン在住の卒業生3人が駆けつけるなど約70人が参加した。

出版記念会で沖会長があいさつ。「ブラジルに移住した農大生は『人物（卒業生）を畑（地方）に還（かえ）す』という母校の建学精神にのっとり、サンパウロ州よりも地方で大きな成果を挙げている」とし、一方で「サンパウロの中央では、これまで卒業生10人以上がブラジル都道府県人会連合会や歴代会会長や副会長を務めている。このたび、

それら大先輩方の活躍の歴史を編纂（さん）した。このように多数の卒業生が出版会にお集まりいただいたことを大変うれしく思う」と感謝した。

日本から駆けつけた高野学長は「第1次産業に携わる人口が減り、苦勞を知らない世代の子どもたちがまた『ブラジルに来て研修をしたい』というのは、農学生としてのDNAが受け



記念誌を持ってあいさつする校友会ブラジル農大会の沖眞一会長

継がれている証拠だと私は思っている。それも、当地の校友会の組織が十分機能しているおかげ。ブラジル

から留学生を迎えられるだけでなく、帰国後の彼らにブラジルで活躍できる場を与えることができる。校友会の方々が積み上げてきたネットワークが受け継がれていくことで、卒業生との絆が今後も深まっていくと確信している」と祝辞を述べた。

「移住百年史―堅き絆―」は重量約2キ、726ページにも及ぶ重厚な記念史。制作途中、資料収集に当たっていた編集副委員長の藤縄貢氏（昭50豊）を病気で亡くすなど、編集作業に約4年を費やした。制作の発起人・編集委員長の池田之彦氏（昭37豊）は「われわれの活動はすでに1世紀を超えていながら、先輩たちの

記憶・歴史について編集されておらず、移住史も一つも出版されていないことは非常に残念であり、むなしかった」と思いを語った。

東京農業大学のブラジル移住は、1914年に渡伯した坂東喜内氏（3大高）に始まった。現在のブラジル東京農大会では日伯相互間で若手の育成に取り組んでおり、一人当たり400万円以上かかる日本での4年間の学費を工面し、過去18年間で延べ30人の学生を同大会に送り出した。

出版記念会では、来賓の在サンパウロ領事館、国際協力機構（JICA）、日系3団体の各出席者や学生受け入れ農家に記念品と金一封が贈呈された。学歌斉唱後、祝賀会の席では高野学長自ら日本から持参した吟醸地酒「東京農大 常盤乃松風」6本を提供し、参加者全員を楽ませた。林まどか文協副会長は「とても甘くて、飲みやすい。フルーティーなお酒」と話していた。

来年から日本でバイオビジネスを専攻予定の村岡輝美さん（日系3世）は「早く働きたいけれど、その前に父親から大学に行くよう勧められた。日本の方々と一緒に生活するのが楽しみ」と思いをはせた。

（サンパウロ新聞2015年8月27日引用・一部修正）

### 石と造園100話 近刊 (11月刊行予定)



小林 章著  
定価：本体2000円＋税  
四六判 並製カラー 160頁

◇著者は造園施設材料、快適な造園空間の創造などについて長年にわたり研究教育に携わってきた。その内容をコンパクトにまとめられている。著者は、東京農業大学造園科学科教授。

### 日本人と馬 つら 埒を越える十二の対話



東京農大「食と農」の博物館・学術情報課程編  
定価：本体4000円＋税  
A5判・上製 420頁

◇馬についての識者による十二話のオムニバス。一話一話の中にたくさんの内容がある。読み進めば対話にのめり込んでしまう。馬を知るための好書、読み応えがある。「神の馬」「昔の馬」「喜びの馬」「働く馬」の4章からなる。

### 食農の匠 東京農大魂逸品堂シリーズ②



東京農大校友会編  
定価：本体2000円＋税  
四六判・並製カラー 179頁

◇「実学主義」を学んだ東京農大卒業生の「6次産業化」に取り組む姿を紹介している。生産だけでなく、加工・販売まで手掛ける卒業生たちを元気づけるために、OB組織の東京農大校友会が企画制作したもの。「醸す人東京農大魂 逸品堂シリーズ①」に続く第2弾。

## 東京農大の本

申込先

東京農大出版会  
〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1  
電話 03-5477-1266  
FAX 03-5477-1274

## 大学との連携を示し 学生にメッセージ



講演する新保昭治さん

東京農業大学は青年海外協力隊50年の節目に6月20日、世田谷キャンパスのアカデミアセンター横井講堂でシンポジウムを開き、約100人参加した。「青年海外協力隊員派遣50周年記念シンポジウム」東京農

業大学と協力隊員「では協力隊OBから、これから協力隊を目指す学生たちへメッセージを送られた。第3次隊でネパールに派遣された東京農業大学国際協力センターの志和地弘信センター長（昭59、農業

## 青年海外協力隊員派遣50周年記念シンポ

拓殖学科卒）と第1次隊でフィリピンに派遣された新保昭治さん（昭36、農業経済学科卒）が「東京農業大学と青年海外協力隊の関わり」について講演。パネルディスカッションでも協力隊員OB4人がパネリス

トとして在学学生にメッセージを送った。東京農業大学は協力隊と伴に歩んできた。本学が協力隊に送り出した卒業生はこれまで1000人を超えている。実践教育をモットーに

国内外の農業分野で活躍する人材を送り出してきた本学は昭和31年に農業拓殖学科を設置し、早くから開発途上国に目を向けていた。40年に協力隊が発足すると協力隊審議会の農業分科会委員が本学から選出され、本学は協力隊事業を支援していくことになる。同年7月には大学内に農業拓殖学科長を委員長とした協力隊応募者選考委員会が設置され、卒業生の派遣を後押しした。この年に選抜された7人は9月の協力隊第1次隊に応募し、全員採用され、12月に協力隊第1次隊第一陣2人がラオスへ出発した。今年50周年を迎えている。

来年9月には農大創立125周年を記念して、世界各地に拠点を構える校友会海外11支部と日本国内47支部が一堂に集結する「世界校友大会」が東京・世田谷のキャンパスで開かれる。

### 食農と環境 No.16



実践総合農学会編  
定価：本体800円  
A4判 並製カラー 144頁

◇平成26年度実践総合農学会 第9回地方大会報告（屋久島町）、他  
実践総合農学会は毎年各地を巡回してシンポジウムを開催している。現場重視で農村・農業を見つめる。会長は、三輪睿太郎氏。

### 水と土の文化論



大橋欣治著  
定価：本体3800円＋税  
A5判 上製 470頁

◇暮らしとその周辺環境の基は、水と土に関わる。文学、音楽、芸術、農など、多分野から水と土の持つ魅力を紹介している。著者は、元北陸農政局長。元鹿島建設(株)専務取締役。東京農業大学客員教授。

# 応援団の夏合宿に 広島県支部が協力

全学応援団、恒例の夏合宿に日程を合わせ、校友会広島県支部（高橋敬明支部長）総会が8月23日に開かれた。総会後の懇親会には、全学応援団30人が招待され、学歌と青山ほとりを披露し、支部校友と懇親を図った。久々の全学応援団の演舞に参加者は感激。「学生に元気と勇気と笑顔を送りたい」と感謝した。

応援団は昨年、福島県相馬市で合宿、農大名物の青山ほとりなどを披露して

大震災で不便な生活を強いられている市民の皆さんを元気づけた。今年は戦後70年（広島・長崎被爆70周年）の節目の年にあたり、全学応援団が広島市を夏合宿の地として選定した。広島県支部が協力し、広島市での

夏合宿が実現したもの。校友会広島県支部は大学の応援団顧問、地元応援団OBと連携を図りながら支部役員が中心となり、企画や設営などを手助けた。

## 被災地の小学校で「頑張ろう」エール

団員30人は8月29日までの1週間、市内で合宿。この間、27日に市内繁華街のアリスガーデンでリーダー公開、道行く人々に農大をPRした。翌28日には、昨年の8月20日未明に発生した集中豪雨・洪水土砂災害により、多くの被害者を出した安佐南区にある市立梅林小学校を訪問した。早朝、団員一同は「広島土砂災害 忘れまい8・20」が刻まれた慰霊碑前に整列して黙とうを捧げ66人の犠牲者を弔った。その後、小学校の体育館に集められた梅林小学校の児童600人が見守る中、壇上でリーダー公開を行い、拍手喝采を受けた。児童を代表して6年生の女子が「東京農業大学全学応援団の皆さまにいた



総会後の懇親会で学歌などを披露した全学応援団

だいた元気で勇気は一生忘れません」とお礼を述べた。帰途、団員一同は被災地現場を視察、黙とうを捧げた。この様子は地元テレビ局4社が取材、各社がニュース番組で放映、広島県民に感動を与え、ともに県内校友からも多くの感想が寄せられた。

続く29日には市内安佐北区を訪問。スーパーマーケット（ノムラストアー）の駐車場広場でリーダー公開。この企画に賛同した地区選出の市議会議員が自費で用意した2000枚のちらしを見て駆けつけた大勢の買い物客に、葉っぱ付きのダイコン200本をプレゼント。「ありがとう」と喝采を受けた。東京農業大応援団の素晴らしい演舞に感激した一人の婦人が、自身の財布から金一封を団長に手渡す場面もあった。

## 復興願い「元気・勇気・笑顔」送る

「集中豪雨と大規模な土砂災害に見舞われた広島市安佐南区・安佐北区の被災地の一日も早い復興を願って行われたこのたびの農大全学応援団の励みは、被災地に「元気・勇気・笑顔」を送ったのではないかと思う」と高橋支部長は語っていた。また「土の覇者・農大ここにあり」を「広く発信することができた」と確信している」と長原毅副支部長。

合宿納会では、近隣県の応援団OB20数人も参加。高橋支部長と長原副支部長も出席、支部から世羅幸水梨と銘酒を贈り一同を慰労した。合宿の最後に団員代表が、広島県の高垣広徳副知事を表敬訪問。副知事から感謝と激励の言葉を受けた。

（長原毅）



梅林小学校でのリーダー公開

## 相撲部OB正代の十両昇進祝う 校友会から羽織はかま 大学からは化粧まわし

### 母校の応援受けまず11勝

大相撲9月場所所新十両昇進を果たした正代関（本名・正代直也さん、時津風部屋）に、校友会は8月25日、正装・羽織はかま一式を贈った。また、東京農業大学は9月9日に化粧まわしを贈った。母校から応援を受けた正代関は、9月場所所11勝4敗と大き



校友会三好吉清会長から正代関に目録が渡された



く勝ち越した。番付を上げる九州場所での活躍が期待される。

正装の贈呈式はグリーンアカデミーで行われた。校友会の三好吉清会長と正代関出身の熊本県支部の阿曾田清支部長連名の目録が渡された。新十両の正代関は、お礼と9月場所所の意気込みを明らかにした。東京農業大学の贈呈式は大学本部で行われ、大澤賢理理事長と高野克己学長が化粧まわしを贈った。

正代関は熊本県宇土市出身で、東京農業大学相撲部（平26開発卒）OB。大学時代に3個のタイトルを獲得した実績を持つ。2年生時に学生横綱となり、幕下15枚目付け出しの資格を得るが、卒業を優先し1年後に資格が消失。2014年春場所、前相撲の初土俵から所要9場所での昇進となった。

また、10月12日の静岡県浜松市で開かれた秋巡業で正代関は、豪栄道関、稀勢の里関のダブル大関に指名を受け、みっちり鍛えられ観衆を沸かせた。11月場所（九州・福岡国際センター）は、11月8日に初日を迎える。

# 農友会 活動

## 体育団体

世田谷キャンパス硬式野球部強化指定部

### 秋季東都2部リーグ

順位	大学名	東洋大	東農大	拓殖大	青学大	立正大	国士大	勝数	負数	勝点
1	東洋大	—	●○○	●○○	●○○	●●	○●○	8	6	4
2	東農大	●●●	—	●○○	○●●	○○	○○	8	5	3
3	拓殖大	○●●	○●●	—	○●○	○○○	○○	8	6	3
4	青学大	○●●	●○○	●○○	—	●●●	○○	7	7	2
5	立正大	○○	●●	●●●	○●○	—	●●●	6	7	2
6	国士大	●●●	●●	●●	●●	○●○	—	3	9	1

春季東都2部リーグ6位  
6月22、23日、神宮球場で3部優勝の順天堂大との

4月27日、7月に韓国・光州で開催されるユニバーシアード夏季大会野球競技の大学日本代表に生物産業学部の井口和朋投手（産経4）が選出された。道内大学からの大学日本代表は12年ぶり4人目、ユニバーシ

オホーツク生物産業学部硬式野球部強化指定部

入れ替え戦の結果、2戦2勝で2部残留が決定。秋季東都2部リーグ2位  
戦国東都の2部リーグ最下位に低迷していた農大は、10月18日に全日程を終了、8勝5敗・勝点3、勝率トップの成績で優勝は逸したものの今季リーグ2位と健闘した。

敗れた試合も延長での敗戦が多くあり、来季は2部優勝1部復帰の望みが出てきた。

なお、秋季リーグ戦を控えた9月1日には、グリーンアカデミーホールで三好吉清校友会会長が、部員・スタッフ90人を招待して激励会を開き、全国校友の期待にこたえるよう激励した。



ユニバーシアード日本代表に選ばれた井口和朋投手

▽1回戦 対富士大学（北東北大学野球リーグ代表）5対3  
▽2回戦 対上武大学（関甲信学生野球リーグ代表）0対9

この結果、ベスト16と北海道六大学野球秋季リーグ優勝（8月22日～9月20日）

オホーツク硬式野球部は北海道六大学野球秋季リーグ戦で9勝1分の成績で3季連続26回目のリーグ優勝を果たした。

大学日本代表に選出された、井口和朋投手を中心に

投手陣の安定と全員野球のチーム力で勝ち取った優勝であった。

この結果、10月4～5日に開催された明治神宮野球大会北海道地区代表決定戦に進出したが、道都大（札幌学生野球連盟代表）に惜敗し、昨年ベスト4まで進出した明治神宮野球大会への出場を逃した。

なお、最高殊勲選手に樋越優一投手、優秀投手に井口和朋、ベストナインに二塁手・稲村晃希、遊撃手・諸永秀幸（産経3）、外野手・村尾信義（産経2）、指名打者・渡部生夢（産経4）が選ばれ表彰された。



全日本大学野球選手権大会に出場（東京ドームで）

陸上競技部強化指定部  
第63回兵庫リレーカーニバル  
2015日本グランプリシリーズ第3戦、第63回兵庫



北海道六大学野球秋季リーグで優勝

第47回全日本大学駅伝対校選手権大会関東予選会（男子、6月20日）

3000m障害では清水萌衣乃（醸1）が10分28秒20で3位に入賞し、本学から3人の選手が日本グランプリシリーズの表彰台に立った。



男子グランプリ1500mで3位になった戸田雅稀選手（右）



女子グランプリ1500mで優勝した飯野摩耶選手（中央）



3年連続23回目の全日本選手権への出場権を獲得した選手ら

関東大学女子駅伝準優勝  
全日本選手権への出場権を獲得

第21回関東大学女子駅伝対抗選手権（兼・全日本大学女子駅伝予選）が9月27日に千葉県印

11月1日に愛知・熱田神宮3重・伊勢神宮間で行われる全日本選手権の関東予選会は、20校が参加して、慶應義塾大学日吉陸上競技場で行われた。

1校8人による1方以上の合計タイムで争い、中央学院など上位9校が本戦出場を決めた。農大は総合タイム14位で出場権を逸した。

第21回アジア陸上競技選手権大会（6月3～7日、中国・武漢）

1区 清水萌衣乃（醸1）1位、2区 佐藤有希（食1）7位、3区 古屋夏乃（経3）5位、4区 小堀真佳（栄3）3位、5区 中村瑠花（栄4）3位、6区 飯野摩耶（経4）4位

1500mで銅メダルを獲得した飯野摩耶選手

飯野摩耶が日本オリンピック委員会から認定証が贈られた。

第99回日本陸上競技選手権大会（6月26～28日、新潟）

女子1500mで決勝

女子3000m障害

清水萌衣乃、4位入賞

10月25日に仙台市で開かれる全日本選手権（杜の都駅伝）への出場権を獲得した。農大は3年連続23回目の出場となる。優勝した日体大とは27秒差、3連覇を狙った大東大は5位。

長田監督は「今年も無事に仙台行きの切符を手にした。チームの雰囲気は最高。一人一人が確実に力をつけている。走った選手、サポートした大東大は5位。」

10月25日に仙台市で開かれる全日本選手権（杜の都駅伝）への出場権を獲得した。農大は3年連続23回目の出場となる。優勝した日体大とは27秒差、3連覇を狙った大東大は5位。

ボクシング部

第68回関東大学リーグ戦
(5月9日～7月11日後楽園ホール)
関東大学リーグ一部6校によるリーグ戦の最終戦が11日に行われた。全勝同士の対戦となった日大に惜敗、リーグ制覇を逸した。一部リーグでは、ライトフライ級、フライ級、バンタム級(2)、ライト級(2)、ライトウェルター級、ウェルター級、ミドル級の全9階級で5勝以上した大学が勝利となる。

Table with 10 columns: 1部リーグ, 日本大, 東農大, 拓殖大, 東洋大, 駒沢大, 法政大, 勝, 負. It shows the results of the 68th Kanto University League.

馬術部

第87回全日本学生馬術選手権大会
吉田選手が準優勝

関東学生(79校)による地区予選を勝ち抜いた中嶋遼(ビジネス3)、吉田匡慶(ビジネス2)、和田健太郎(ビジネス2)、服部真緒(ビジネス3・女子選手権)が、平成27年9月12～13日、北海道苫小牧市にあるノーザンホースパークで開催された全日本学生馬術選手権大会・同女子選手権に出場した。昨



全日本学生馬術選手権大会で準優勝した吉田匡慶選手とノーザンホースパークのポーカーフェイス号

第70回国民体育大会ボクシング競技会(9月30日～10月5日和歌山県田辺市)



ライト級で優勝した森坂嵐選手(左)とフライ級で準優勝の北浦龍馬選手

団体優勝▽標準障害飛越競技▽団体優勝
第87回関東学生馬術選手権大会・第59回同女子選手権大会(5月15～17日)
上記4選手が全日本学生へ出場権利獲得。
第50回関東学生賞典障害飛越競技大会(6月25～28日)

▽団体Ⅱ5位▽個人Ⅱ和田健太郎6位
第66回関東学生賞典総合馬術競技大会
▽団体Ⅱ8位
第85回関東学生争覇戦(9月4～6日)
▽I部Ⅱ3位



関東学生賞典障害飛越競技で入賞した和田健太郎とホーリーブレインチパラ

文化団体

社交ダンス研究部

第110回関東大学学生競技ダンス選手権大会(4月19日、独協大学)
伊東(醸4)・河合(化4)組がスローフォックストロットで優勝、タンゴで準優勝。中村(経4)・大塩(化4)組がサンバで優勝。林(森4)・藤井(バ



林宗親・藤井ひとみ組

農大から7人の学生と卒業生2人が出場、成績は次の通り。
▽ライト級Ⅱ森坂嵐(ビジネス1)・奈良良代表 優勝
▽フライ級Ⅱ北浦龍馬(ビジネス1)・長崎県代表 準優勝
▽ライト級Ⅱ星大二郎(平19経)和歌山県代表



準優勝した女子ホッケーの選手たち

準優勝
▽ミドル級Ⅱ酒井幹生(ビジネス4)北海道代表 3位
第85回全日本ボクシング選手権大会(兼・2016年リオデジャネイロオリンピックの代表選考会、11月17日～22日)に農大から10

人の選手が出場決定していただきますので、ご声援をお願いします。
世田谷ホッケー部女子
関東学生ホッケー春季1部リーグ(5月24日)
駿河台大学との準決勝で勝利、決勝戦で山梨学院大



ラクロス部

学には残念ながら敗れたものの準優勝となり、第34回全日本大学ホッケー王座決定戦の出場権を獲得。7月9日の大学王座決定戦では、早稲田大学に3-0で惜敗した。

関東学生2部リーグに所属する本学ラクロス部の関口紗生(健康1・横浜市立東高)がU19女子ラクロス日本代表に選出され、7月23日～8月1日に英国・エジンバラで開催された「第6回FIL女子19歳以下世界選手権大会」に出場、総合6位で大会を終了した。



中村公紀・大塩香澄組

第17回皐月杯争奪学生競技ダンス選手権大会(6月14日、首都大学東京)
シニアモダンの部で小堀



伊東俊介・河合美乃莉組

剣道部

第61回関東学生剣道選手権大会(5月10日、日本武道館)
松山大晟(森2)が参加人数498人中、ベスト32に入り、6月27～28日の第63回全日本学生剣道選手権大会への出場権を獲得した。

第21回東京都学生剣道選手権大会(5月24日、明治大学和泉校舎体育館)
斎藤拓哉(開発3)が参加人数226人中、ベスト8(敢闘賞受賞)に入り、9月6日の全日本剣道選手権大会東京都予選への出場権を獲得した。

第45回全関東学生弓道選手権大会(6月20～21日、日本武道館)
▽女子団体Ⅱベスト8に進出



女子団体で優勝した河内桃子選手と戸田夏紀選手(前列)

弓道部

第45回全関東学生弓道選手権大会(6月20～21日、日本武道館)
▽女子団体Ⅱベスト8に進出



ベスト8に進出した部員

書道部

第67回毎日書道展(7月22日から8月2日)
島野嶺(化4)が「U23新鋭賞・近代詩文書部」に入賞し、入賞作品が国立新美術館に展示された。

自動車部

平成27年度全日本学生ジムカーナ選手権大会(8月24日、三重県鈴鹿サーキット)
▽女子団体Ⅱ河内桃子(開発3)、戸田夏紀(経済3)優勝

道優勝大会への出場権を得た。

オホーツク剣道部

第61回北海道学生剣道選手権大会(5月10日、北海道大学)
木村光太(産生3)が出場者146人中ベスト8に入り、第63回全日本学生剣道選手権大会への出場権を獲得した。

陸上競技部 = 男子

陸上競技部 = 女子



59分34秒の7位と健闘した戸田雅稀選手

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 学科, 出身. Lists top 10 male runners.

箱根駅伝2年連続出場権逃す エース戸田の力走むなしく涙

第92回東京箱根間往復大... 予選会が10月17日、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタート、国立昭和

記念公園をゴールとする20... のコースで実施された。今年も関東学連の49大学が参加、来年正月の本戦出場権10枠をかけて死闘を展開

した。本学は、昨年は10位にわずか49秒差の11位に終わり、本戦への出場権を逃している。今年こそは、箱根の古豪・伝統校の名譽にかけて、70回目の出場を目指し激戦に挑んだが、結果、上位10人の合計タイム10

時間12分57秒とトップ日大と6分57秒差の大差、10位上武大とも53秒と大きく開き、総合12位に終わった。この結果、本学は2年連続して箱根駅伝への切符を逃し、出場権を確保することができなかった。レースは約60人の部員から選抜された12人が出場。雨の降りしきる悪天候の中、本戦に出場経験があるキャプテン・エース戸田が1時間を切る59分34秒の7位と一人気を吐いたものの、100位以内に4人（昨年10人、昨年5人）と惨敗した。

山梨県山中湖、岐阜県御嶽山、北海道での夏合宿において走り込みを行って臨んだ予選会であったが選手層の薄さに泣いた。当日は校友会の三好吉清会長ら本部役員も沿道で応援。校友会東京都支部、地元

三多摩常磐松会、校友会千葉支部など多くの校友や大学関係者が母校ののぼりや横断幕を持って応援した。大学スポーツの中で、最大のメジャー大会となり国民的人気があるのが箱根駅伝。その出場権をめぐる競争は年々激化している。正月に全国ネットでテレビ放映される箱根への出場は、各大学とも大学名をPRできる大きなチャンスと捉え、チーム強化を図っている。

今年の予選会結果を見る限り、残念ながら本学の戦力では本戦への出場は当分の間、望めそうにない。校友からのスポーツサポート募金の支援も含め、大学自体として早急にかつ抜本的なてこ入れを期待したい。

来年のシード権確保 総合7位でゴール

杜の都駅伝

飯野摩耶選手有終の美を飾る



力走する飯野摩耶選手

10月25日、杜(もりの都)・仙台市で行われた第33回全日本女子駅伝対校選手権大会に3年連続23回目の出場を果たした農大女子駅伝チームは、強豪校相手にエース飯野の力走で7位に入賞、来年の同大会シード権と2015全日本女子選手権(富士山駅伝)への出場権を確保した。

清水・原田の1年生が力走 本大会は6区間全長38キロに26チームが出場した。1区は平たんコースに各校自



総合7位でゴールした原田紗枝選手

Table with 6 columns: 区間, 氏名, 学科, 出身, 区間順位, 総合順位. Lists top 6 female runners.

力走、順位を上げ7位でドリ。4区は最も距離の短い区間。各校スピードランナーを配置。小堀は順位を守り、エース飯野にたすきをつないだ。5区は各校がプライドをかけてエースを起用する最長区間。農大はこの4年間、女子陸上部をけん引してきた異色のランナー飯野を起用。15000名の全日本級のスペシャリ

内8位でアンカーにたすきをつないだ。最終6区1年生の原田はシード権確保を目指し、必死の力走。ラストに一人をかわして見事7位でゴールに飛び込んだ。シード権確保の瞬間にゴールに待ち構えていた部員や卒業生が歓喜の叫びを上げ、杜の都仙台に「青山ほとり・大根おどり」の歌声がとどろいた。



ダイコンを手に7位入賞を喜ぶ駅伝チーム

相撲部強化指定部

第94回東日本学生相撲選手権大会(6月7日、東京・両国国技館)

▽団体戦 3位  
▽個人戦 小柳亮太(森林4) 優勝、楮佐古明輝(開発4) 3位



団体戦で優勝。個人戦でも3位入賞を果たした選手たち

第5回全日本大学選抜相撲大会(7月19日、石川県金沢市)

▽団体戦 優勝  
▽個人戦 小柳亮太、3位  
第42回東日本学生相撲個人

地元校友会 支部も大応援

全学応援団の盛大な応援と沿道では校友会宮城県支部や岩手県支部の校友らが力走する選手に大声援を送った。レース終了後、長田千治監督が「大学関係者はじめ、多くの校友の皆さまの応援でシード権がとれた。

体重別選手権大会(7月26日、東京・靖国神社)  
▽75kg未満級 中畑裕雅(森林3) 3位  
▽135kg未満級 齋藤真(森林2) 準優勝  
全日本大学選抜十和田大会(8月14日、青森県十和田市)

▽個人戦 小柳亮太 優勝  
小柳は、昨年の全国選抜大会・実業団対抗和歌山大会、6月の東日本学生選手権に続き、個人で三つのタイトルを手にした。目標とする11月の全国学生選手権大会(大阪)で学生横綱を目指す。

第20回世界相撲選手権大会(8月30日、大阪府堺市)

▽個人重量級 小柳亮太、優勝  
第63回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会(9月13日、



世界選手権で優勝した小柳亮太選手(右から2人目)



優勝した楮佐古明輝選手

第40回全国学生相撲個人体重別選手権大会(9月20日、東京・靖国神社)

▽無差別級 小柳亮太、優勝  
▽75kg未満級 志賀裕人(開発1) 準優勝

編集後記

箱根駅伝予選会は残念な結果に終わったが、女子駅伝や硬式野球部、伝統の相撲部、ボクシング部など農大スポーツも結構活躍している。OBだが、大相撲の十両・正代にも声援を送っていたがたい。来年は母校創立125周年の記念すべき年となる。大学では5月22日に、盛大に記念式典を挙げる。この日には卒業生が母校を訪問するホームカミングデーも開かれる。校友会でも9月23日に「世界校友大会 in JAPAN」を開催する。式典やレセプションなどを予定。一つは卒業生の参加は自由、宿泊先なども確保して、ぜひとも来校願いたい。(小野)

編集委員

- 委員長 小泉 幸道 (副委員長・醸造教授)
委員 館 博 (短醸・教授)
委員 豊原 秀和 (常任理事・名誉教授)
委員 石川 浩一 (法人本部・総務部長)
委員 小野 甲二 (常任理事・事務局長)

